

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
基準日 定時株主総会・期末配当 (中間配当)	毎年2月末日 毎年8月31日 なお、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに記載いたします。 <a href="http://www.twinbird.jp/">http://www.twinbird.jp/</a>
上場取引所	東京証券取引所

### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ツインバード工業株式会社

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2  
TEL.0256-92-6111 FAX.0256-92-7582

ぜんぶはない。  
だから、ある。



第60期

報告書

2021年3月1日～2022年2月28日

ツインバード工業株式会社

証券コード 6897

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第60期（2021年3月1日から2022年2月28日まで）の事業概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、2020年4月に「事業構造を筋肉質に転換、強化した財務体質を活用し収益事業で成長を目指す」を骨子とする中期経営計画を発表いたしました。「TWINBIRD ブランド価値向上」、「経営品質の向上」、「成長事業の進展」を柱とする10項目の主要戦略のもと、事業規模の拡大を追求するのではなく、事業の「質」を改善することに注力しております。強化した事業収益性と財務体質を活用し次の事業成長のための基盤を整えることで、事業のサステナビリティを強化してまいります。

当期を振り返りますと、上期におきましては、当社の独自技術であるスターリング冷凍機を搭載した新型コロナウイルス用ワクチン運搬庫の大型受注が業績を大きく牽引し、財務体質が大幅に改善いたしました。

下期におきましては、当初計画を1年半前倒しして事業成長のための大胆な戦略的投資を開始。新たなブランドプロミス「心にささるものだけを。」を策定し、コーポレートロゴを刷新するとともに、2つのブランドラインを新設いたしました。家電市場の最大需要期である年末商戦及び新生活商戦では、戦略的新製品である「匠プレミアム」ブランドラインの代表製品である全自動コーヒーメーカーの販売が堅調に推移し、2022年1月には「感動シンプル」ブ

ンドラインの新製品第1弾としてスチームオープンレンジの販売を開始いたしました。

これらの結果、当期の業績は中期経営計画の目標数値を上回り、3期連続での増収、営業増益を達成いたしました。また、3年累計の中期利益目標を、2年間で大きく達成しております。

次期につきましては、中期経営計画3年目を迎えますが、当期を超える戦略的投資を実行し、TWINBIRDブランド価値向上及びFPSC（フリー・ピストン・スターリング・クーラー）事業の進展に注力してまいります。

当期は、1株当たりの通常年間配当12円に加え、創業70周年記念配当として1株当たり3円と合わせて、年間配当15円（前期比3円増配）といたします。次期の配当予想につきましては、1株当たりの年間配当13円（記念配当を除き前期比1円増配）を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年5月



ツインバード工業株式会社  
代表取締役社長  
野水重明

当期の業績

当社グループの当連結会計年度における売上高は12,869百万円となり、前期比364百万円の増収（増減率+2.9%）となりました。利益面につきましては、営業利益は719百万円となり前期比110百万円の増益（増減率+18.1%）、経常利益は610百万円となり前期比126百万円の増益（増減率+26.0%）、また法人税等調整額を△61百万円計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は419百万円となり、前期比255百万円の増益（増減率+155.6%）と3期連続の増収、3期連続の営業利益増益を実現いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①家電製品事業

前期における調理家電等の巣ごもり需要や定額給付金等による家電需要の反動を受け、家電量販市場向けの売上が減速しましたが、ホテルや病院向けの業務用家電及びOEM製品等のソリューションビジネスが順調に回復しております。利益面では、匠プレミアムブランドラインを代表する全自動コーヒーメーカーが累計約7万台となる販売を記録するなど好調に推移したほか、下期には最大の需要期である年末年始商戦及び新生活商戦に向け、感動シンプルブランドラインにスチームオープンレンジを投入するなど、革新的な戦略的新商品へのシフトを進め、家電製品事業の収益基盤を強化いたしました。また、直近2年間で商品点数を1/2以下に絞込みながらも商品1点当たりの売上を増加、波及効果も含めた収益性の改善を進めたことなどにより、売上総利益率は前期比0.4pt改善しました。一方、中長期的な成長の起爆剤とすべく、リブランディングや戦略的新商品の開発のため、キャッシュベースで約10億円の大胆な戦略的投資を実施いたしました。

この結果、家電製品事業の当連結会計年度における売上高は10,658百万円となり、前期比294百万円の減収（増減率△2.7%）、セグメント利益は847百万円となり、前期比67百万円の減益（増減率△7.4%）となりました。

②FPSC事業

新型コロナウイルス感染症ワクチン用ディープフリーザー（SC-DF25WL）について武田薬品工業株式会社向け大型案件の出荷を4月に完了し、さらに厚生労働省からの追加受注につきましても7月及び9月に出荷し、前期からの累計出荷台数は約1万2千台となりました。これらの製品はモデルナ社ワクチンの主な接種先である医療機関や職域接種会場等への輸送・保管用に幅広く使用されており、3回目以降のワクチン接種に向けたリフレッシュサービスを11月より約6千台実施したことも、当期業績に寄与いたしました。尚、この製品は医療ワールドチェーンに提供する製品として高い信頼性が求められるため定期的なメンテナンス（リフレッシュサービス）が必要となります。この結果、FPSC事業の当連結会計年度における売上高は2,211百万円となり、前期比658百万円の増収（増減率+42.4%）、セグメント利益は906百万円となり、前期比238百万円の増益（増減率+35.7%）となりました。

次期の見通し

（通期連結業績予想）

売上高	13,000百万円	（当期実績 12,869百万円）
営業利益	280百万円	（当期実績 719百万円）
経常利益	240百万円	（当期実績 610百万円）
親会社株主に帰属する当期純利益	170百万円	（当期実績 419百万円）

— 連結財務諸表（第60期）

連結貸借対照表

科 目	前期末	当期末
	2021年2月28日現在	2022年2月28日現在
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	8,501,265	6,303,194
現金及び預金	2,369,968	1,391,413
受取手形及び売掛金	2,963,902	1,679,771
商品及び製品	2,022,756	1,968,448
仕掛品	424,964	427,287
原材料及び貯蔵品	451,769	457,455
その他	280,228	386,090
貸倒引当金	△12,325	△7,273
固定資産	4,470,402	4,818,302
有形固定資産	3,862,265	3,927,381
建物及び構築物（純額）	1,227,856	1,213,434
機械及び装置（純額）	153,489	120,364
車両運搬具（純額）	4,372	4,142
金型（純額）	137,956	143,063
工具、器具及び備品（純額）	101,498	113,527
土地	2,056,499	2,070,465
リース資産（純額）	175,179	129,825
建設仮勘定	5,413	132,556
無形固定資産	119,922	181,040
投資その他の資産	488,215	709,879
投資有価証券	198,629	305,824
退職給付に係る資産	—	144,495
繰延税金資産	228,533	200,116
その他	91,129	88,724
貸倒引当金	△30,077	△29,281
資産合計	12,971,668	11,121,496

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	前期末	当期末
	2021年2月28日現在	2022年2月28日現在
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	3,277,378	2,120,880
支払手形及び買掛金	451,891	139,979
短期借入金	1,050,000	—
1年内返済予定の長期借入金	666,542	1,190,322
リース債務	99,316	94,611
未払法人税等	169,720	169,682
未払消費税等	63,349	4,762
賞与引当金	71,852	69,908
リコール損失引当金	11,980	—
株主優待引当金	1,332	3,779
製品補修対策引当金	3,534	28,069
事業構造改善引当金	—	21,070
その他	687,858	398,693
固定負債	1,625,482	298,774
長期借入金	1,190,322	—
リース債務	281,611	189,917
退職給付に係る負債	53,817	—
役員株式給付引当金	43,200	51,700
資産除去債務	20,100	20,100
その他	36,431	37,056
負債合計	4,902,860	2,419,654
<b>純 資 産 の 部</b>		
株主資本	7,928,542	8,232,896
資本金	2,499,077	2,507,094
資本剰余金	2,594,330	2,602,347
利益剰余金	2,942,134	3,231,623
自己株式	△107,000	△108,169
その他の包括利益累計額	140,265	468,945
その他有価証券評価差額金	△5,039	102,744
繰延ヘッジ損益	42,558	115,155
為替換算調整勘定	31,179	43,098
退職給付に係る調整累計額	71,567	207,945
純資産合計	8,068,807	8,701,841
負債純資産合計	12,971,668	11,121,496

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前期	当期
	2020年3月1日から 2021年2月28日まで	2021年3月1日から 2022年2月28日まで
売上高	12,505,802	12,869,925
売上原価	8,308,573	8,341,451
売上総利益	4,197,228	4,528,473
販売費及び一般管理費	3,588,325	3,809,143
営業利益	608,903	719,329
営業外収益	36,424	63,715
営業外費用	161,271	172,922
経常利益	484,055	610,123
特別利益	24,866	7,444
特別損失	322,209	41,946
税金等調整前当期純利益	186,712	575,621
法人税、住民税及び事業税	144,951	218,155
法人税等調整額	△122,271	△61,860
法人税等合計	22,680	156,294
当期純利益	164,031	419,326
親会社株主に帰属する当期純利益	164,031	419,326

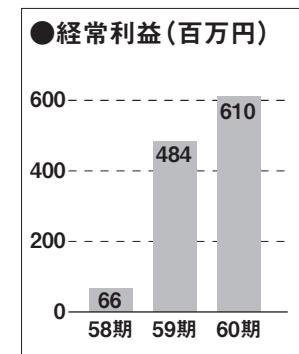
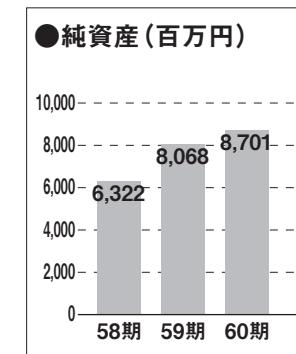
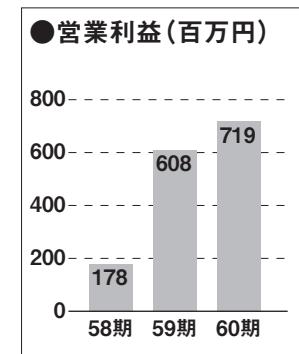
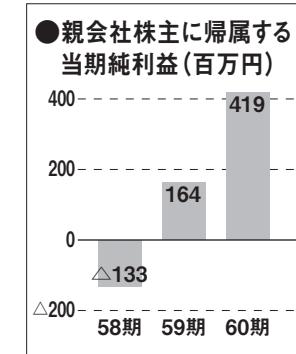
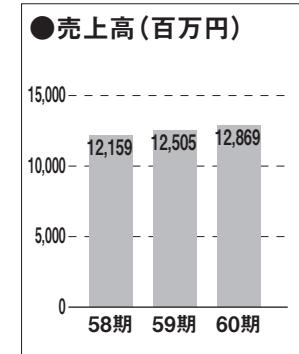
(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前期	当期
	2020年3月1日から 2021年2月28日まで	2021年3月1日から 2022年2月28日まで
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	887,296	1,517,606
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,989	△524,390
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	539,533	△1,985,289
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,326	12,218
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,362,513	△979,854
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	627,055	1,989,568
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	1,989,568	1,009,713

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



## トピックス

### ■ 株主優待制度を拡充し、ご利用いただきやすくなりました。

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、多くの皆様に当社事業へのご理解を深めていただき、より一層当社株式への投資の魅力を高めるため株主優待制度を拡充いたしました。

株主優待：ツインバード公式ホームページでの商品ご購入時にご利用いただける「株主優待クーポン」

変更の内容：(1) 全対象者の皆様への株主優待クーポン進呈金額を増額  
(2) 5,000株以上～10,000株未満保有及び10,000株以上保有株主様の対象枠を新設

**優待制度拡充後 配当利回り+優待利回り= 4.83%<sup>※1</sup>**

※1 配当金額は1株当たり12円、株価は2022年2月末日の株価にて算出。

※2 2022年度の株主優待制度より適用いたします。株主優待制度の詳細につきましては当社公式ホームページをご確認ください。

免責事項：株主優待制度に関する内容は将来変更となる可能性があることにご留意ください。

TWINBIRD



株主優待については  
こちら



### ■ ワクチン運搬庫がJICAを通じた「ラスト・ワン・マイル支援」で社会課題解決に貢献

JICA（独立行政法人 国際協力機構）を通じて、2021年8月に東ティモール、次いで2022年4月にモザンビークへワクチン運搬庫が届けられました。今後アフリカ地域及びアジア地域へのさらなる拡大を実行中です。



東ティモールにて



モザンビークにて  
写真提供：JICA

### ■ 「感動シンプル」ブランドライン第1弾 スチームオープンレンジ 1/14発売

リブランディング発表後の第1弾新製品スチームオープンレンジを2022年1月14日に発売。アンバサダーの料理家和田明日香さんによる大手量販店での店頭イベントなど、お客様とのコミュニケーションを強化し、精力的に販売活動を推進しています。



「上下で包み込むWスチーム」  
スチームオープンレンジ (DR-F871W)

製品紹介・お申込  
についてはこちら



## ■ 会社概要 / 役員の状況 / 株式の状況

### ■ 会社概要 (2022年2月28日現在)

創 業 1951年3月1日  
設 立 1962年4月17日  
資 本 金 25億709万円  
従 業 員 数 303名  
事 業 内 容 家庭用電気機器・家庭用照明器具・  
理美容健康器具・電気音響機器の  
製造販売  
FPSC及びその応用商品の製造販売

### ■ 役員の状況 (2022年5月27日現在)

代 表 取 締 役 社 長	野 水 重 明
専 務 取 締 役	佐 藤 勉
取 締 役	小 林 和 則
取 締 役	浅 見 孝 幸
取 締 役	河 村 吉 章
社 外 取 締 役	加 藤 善 孝
社 外 取 締 役	萩 原 貴 子
社外取締役 (監査等委員)	駒 宮 史 博
社外取締役 (監査等委員)	島 田 正 純
社外取締役 (監査等委員)	小 村 隆 三
執 行 役 員	渡 邊 桂 一
執 行 役 員	井 上 淳 也
執 行 役 員	渡 邊 英 一
執 行 役 員	上 野 次 朗
執 行 役 員	宮 井 剛

### ■ 本社及び主要な支社・支店・営業所等

本 社	〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字瀧向2084-2 TEL.0256-92-6111 FAX.0256-92-7582
東京支社	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 ツインバード日本橋ゲートオフィス TEL.03-3663-8771 FAX.03-3663-8640
大阪支店	〒540-0034 大阪市中央区島町2-4-9 島町第2野村ビル4階 TEL.06-6946-0811 FAX.06-6946-0833
新潟営業所	〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字瀧向2084-2 TEL.0256-92-6119 FAX.0256-93-4422
名古屋営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-14-32 丸の内三丁目ビル3階 TEL.052-231-7551 FAX.052-231-4221
福岡営業所	〒812-0025 福岡市博多区店屋町6-25 オクタブ店屋町ビル7階 TEL.092-281-2600 FAX.092-281-2601

### ■ 株式の状況 (2022年2月28日現在)

- ①株式数 発行可能株式総数・・・34,000,000株  
発行済株式の総数・・・10,843,600株  
(自己株式14,584株を含む)
- ②株主数・・・16,021名
- ③大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数		持株比率 %
	千株		
株 式 会 社 双 栄	1,190		10.99
ツインバード従業員持株会	326		3.02
株式会社日本政策投資銀行	276		2.55
野 水 重 明	271		2.51
野 水 重 勝	270		2.50
株式会社日本カストディ 銀 行 ( 信 託 口 )	255		2.36
野 水 敏 勝	202		1.87
株式会社第四北越銀行	109		1.01
あいおいニッセイ同和 損 害 保 険 株 式 会 社	106		0.98
野 水 御 富 士	106		0.98

持株比率は自己株式 (14,584株) を控除して計算しております。  
(表示単位未満の端数を持株数は切捨て、出資比率は四捨五入しております。)